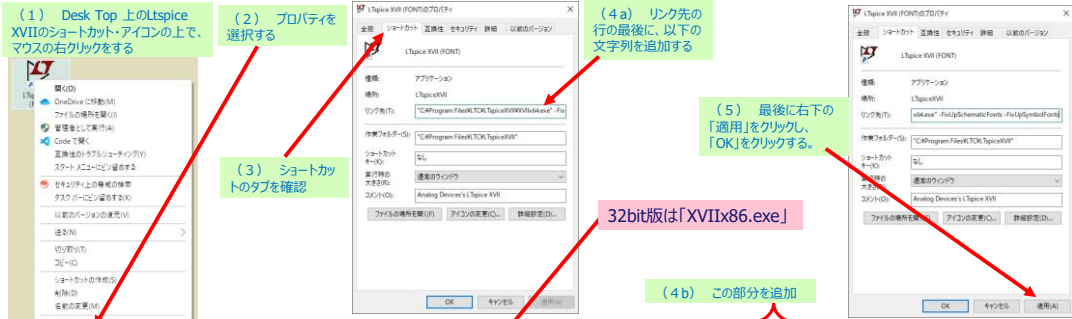


LTspice IV以前の回路図のフォントサイズを現在のデフォルト値で更新する

ver. IV 以前にキャプチャーした回路図を、現在のver. XVIIで開くと回路図中の文字（部品名称・値・コマンド）が、現在のデフォルト・サイズの[1.5]ではなく[0.65]になってしまふ。これを変更するために、回路図の中でいちいちそれぞれの文字を選択しながらサイズ変更をするのは手間がかかる。そこで、個別の回路図を開くときに、フォント・サイズをすべて[1.5]にしてしまふ便利な手法を以下に解説する。複数のファイル进行处理するバッチ処理に関しては、後半で述べる。



"C:\Program Files\LTC\LTspiceXVII\XVIIx64.exe" -FixUpSchematicFonts -FixUpSymbolFonts

...準備ができたので

例題として右図に示す簡単な回路で試してみる。
見ての通り、部品名称やその値、.tranコマンドのすべてがFont Size=0.65で表示されている。
(回路図はいったん閉じる)

この回路図ファイルを、先ほどオプションスイッチを追加したショートカットアイコンの上に、ドラッグ&ドロップし、回路図を開く。このとき、一部がサイズ変更されていない場合もあるが、そのときは、スペース・キーを押して回路図サイズをフィッティングするか、マウスのホイールを回転させると、デフォルト表示になる（右下の図）。

複数の回路図ファイルのフォント・サイズを、一括で変換するための単独のコマンドはないが、バッチ処理を、「コマンド プロンプト」の中で処理することはできる。

<処理のためのファイル名> .BAT というバッチファイルを「メモ帳」などのテキスト・エディターでつくり...バッチのそれぞれの行に...

XVIIx64.exe -FixUpSchematicFonts -FixUpSymbolFonts FontSize=TEST-00.asc

32bit版は「XVIIx86.exe」

のように、「XVIIx64.exe」の後に、先ほどのオプション・スイッチとフォントサイズ変更の処理対象にするファイル名を書く。これを、バッチファイル内に、必要ファイル数だけ記述し、BATファイルを保存し、コマンド・プロンプトからこのBATファイルを実行する。ただし、XVIIx64.exeのファイルに、WindowsのPATHを通しておく必要がある。

